国会事項

衆議院

政府特別補佐人承認

一月十四日横路議長は、鳩山内閣総理大臣申出の次の者を、第百七十四回国会政府特別補佐人とすることを承認した。

人事院総裁　江利川　毅
公正取引委員会委員長　竹島　一彦
公害等調整委員会委員長　大内　捷司

参議院

政府特別補佐人承認

一月十四日江田議長は、鳩山内閣総理大臣から申出のあった次の者を、第百七十四回国会政府特別補佐人として承認した。

人事院総裁　江利川　毅
公正取引委員会委員長　竹島　一彦
公害等調整委員会委員長　大内　捷司

皇室事項

御祝電

天皇陛下、モザンビーク国大統領アルマンド・エミリオ・ゲブーザ閣下の大統領再任につき、一月十四日御祝電を発せられた。

歌会始の儀

一月十四日午前十時三十分、宮中において、歌会始の儀を行われた。

御製、御歌、皇族の詠進歌、召人及び選者の詠進歌並びに選歌は、次のとおりである。

御　製

木漏れ日の光を受けて落ち葉敷く小道の真中草青みたり

皇后宮御歌

君とゆく道の果たての遠白く夕暮れてなほ光あるらし

東　宮

雲の上に太陽の光はいできたり富士の山はだ赤く照らせり

東宮妃

池の面に立つさざ波は冬の日の光をうけて明かくきらめく

文仁親王

イグアスの蛍は数多光りつつ散り交ふ影は星の如くに

文仁親王妃紀子

早春の光さやけく木々の間に咲きそめにけるかたかごの花

正仁親王

父君に夜露の中をみ供してみ園生を行けば蛍光りぬ

正仁親王妃華子

大記録なしイチローのその知らせ希望の光を子らにあたへむ

崇仁親王妃百合子

雪はれし富良野の宿の朝の窓ダイヤモンドダストのきらめき光る

憲仁親王妃久子

北極の空に色づくオーロラの光の舞ふを背の宮と見し

承子女王

黄金に光り輝く並木道笑顔の友の吐く息白く

典子女王

葉の上にぽつりと残る雨粒に雲間より差す光ひとすぢ

召人　武川　忠一

夕空に赤き光をたもちつつ雲ゆつくりと廣がりてゆく

選者　岡井　隆

光あればかならず影の寄りそふを肯ひながら老いゆくわれは

選者　篠　弘

金箔の光る背文字に声掛けて朝の書斎へはひりきたりつ

選者　三枝　昂之

あたらしき一歩をわれに促して山河は春へ光をふくむ

選者　河野　裕子

白梅に光さし添ひすぎゆきし歳月の中にも咲ける白梅

選者　永田　和宏

ゆつくりと風に光をまぜながら岬の端に風車はまはる

選　歌（詠進者生年月日順）

燈台の光見ゆとの報告に一際高し了解の聲

東京都　古川　信行

選果機のベルトに乗りし我がみかん光センサーが糖度を示す

静岡県　小川　健二

冬晴れの谷川岳の耳二つ虚空に白き光をはなつ

群馬県　笛木力三郎

前照灯の光のなかに雪の降り始発列車は我が合図待つ

北海道　西出　欣司

梅雨晴れの光くまなくそそぐ田に五指深く入れ地温はかれり

兵庫県　玉川　朱美

焼きつくす光の記憶の消ゆる日のあれよとおもひあるなと思ふ

長野県　久保田幸枝

我が面は光に向きてゐるらしき近づきて息子はシャッターを押す

大阪府　森脇　洲子

あをあををとしたたる光三輪山に満ちて世界は夏とよばれる

東京都　野上　卓

藍甕に浸して絞るわたの糸光にかざすとき匂ひ立つ

福岡県　松枝　哲哉

雲間より光射しくる中空へ百畳大凧揚がり鎮まる

京都府　後藤　正樹

人事異動

財務省

貞岡　義幸
願に依り国家公務員共済組合連合会監事を免ずる

（財務総合政策研究所次長）財務事務官　梅本　守
会計センター所長を命ずる
兼ねて財務総合政策研究所長を命ずる
兼ねて財務総合政策研究所次長事務取扱を命ずる

（会計センター所長兼財務総合政策研究所長）同　佐々木豊成
財務総合政策研究所長兼務を免ずる
願により本官を免ずる（以上一月十四日）